

大学卒業後、京都の公立中学校社会科教員となる。以降、約20年間、中学校教員。立命館には、2001年より非常勤講師として、2008年より子ども社会専攻教員として勤務。専門はキャリア教育（進路指導）、社会科授業づくり。

1. 専門演習の目標

特色ある学校づくり、新しい授業づくり、すぐれた教師の教育実践などの調査を通して、学校教育の可能性を追究していきたい。担当者は、学校現場で目の前の様々な事に追われてきたので、大所高所に立っての研究や議論は苦手です。小所低所からはじめます。

2. 専門演習で扱う課題と内容

個別具体的な事例にこだわり調査・研究することによって、各自が自分なりの意見を持つ。

1. 学校教育の現状について
2. 特色ある学校・教師の現地調査
3. 地域に於ける実践的教育活動への参加

3. 授業の進め方・内容

- 3回生前期：基本文献による学習
- 3回生後期：グループによる調査
- 4回生前期：個別のテーマ設定
- 4回生後期：卒業論文作成

4. 必要とする知識

学校教育（子ども・教師・学校）に関する興味・関心

5. 関連する分野・科目・知識

教職課程の「教職に関する科目」

6. テキスト・参考書・機材（受講生が標準的に持つもの）

『最新教育データブック』時事通信社

※現在、第12版ですが、13版が間もなく出版されるので、そちらを購入して下さい。

7. 独自に付加する選考方法

レポート及び面接

※ガイダンスには必ず出席して下さい。万が一、無理な場合はメールで連絡下さい。

8. 受講生に望むこと

ゼミへの積極的参加、最低限の礼儀（時間厳守・挨拶・連絡・受講態度）、ゼミ構成員への協力的態度